

令和7年度

全国学力・学習状況調査の 結果概要

令和7年7月31日
山梨県教育委員会

令和7年度

全国学力・学習状況調査の結果概要について

山梨県教育委員会

1 調査の概要

(1) 調査実施日 令和7年4月17日(木)

※中学校理科は4月14日(月)から4月17日(木)までの間で、各学校の希望を踏まえて文部科学省が指定した日

(2) 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、

- ・全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ・学校における児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ・上記のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

(3) 調査の対象

①小学校第6学年、中学校第3学年

②小学校、中学校等

	公立小学校	特別支援学校 小学部	公立中学校	特別支援学校 中学部	合 計
学校数 (分校含む)	164校	1校	78校	5校	248校
児童生徒数	5,523人		5,422人		10,945人

(4) 調査事項

①児童生徒：教科調査〔国語、算数・数学、理科〕/質問調査

②学 校：質問調査

(5) 調査問題

- ・学習指導要領で育成を目指す、知識及び技能や思考力、判断力、表現力等を問う問題を出題。
- ・「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善のメッセージを発信。

(6) 今年度の調査の特徴

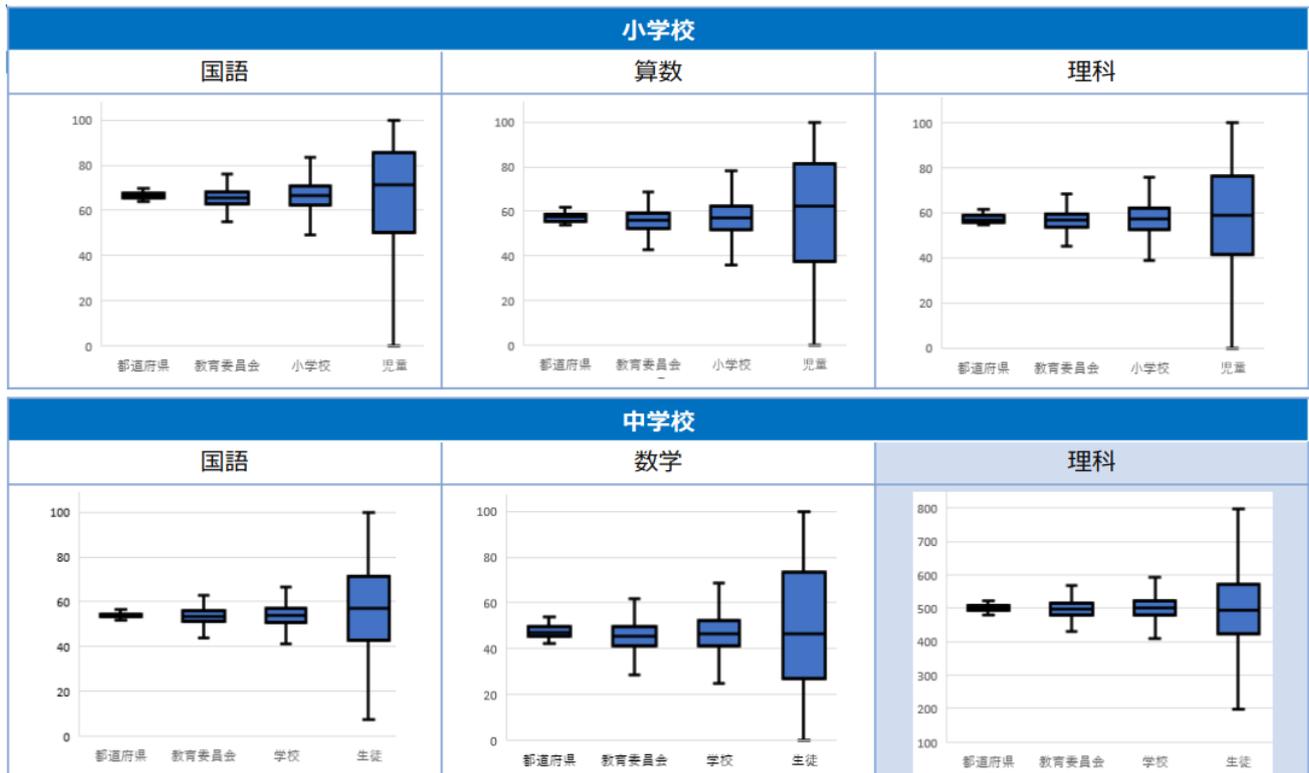
- ・中学校理科は、生徒が活用する ICT 端末等を用いた、文部科学省 CBT システム (MEXCBT) によるオンライン方式 (CBT (= Computer Based Testing)) で実施。
- ・生徒質問調査において、全体の傾向を把握するための 16 項目のうちランダムに選ばれた 5 問のみを生徒が回答する「ランダム方式」を試行。
- ・多様な児童生徒の状況把握。
- ・結果公表の内容、スケジュールの改善。

2 結果の概要

(1) 教科に関する調査

○全国及び本県（公立）の平均正答数（率）・平均 IRT スコア

国立教育政策研究所の令和7年度全国学力・学習状況調査の教科に関する調査の報告書には、「都道府県・指定都市別の平均正答率（平均 IRT スコア）については、ばらつきの状況は極めて狭い範囲内に収まっている。各教育委員会、各学校の状況については、全国平均からの離れ具合を表す平均正答率（平均 IRT スコア）の標準偏差を見ると、前回調査と比べ、ばらつきに大きな変化は見られない。」と表記されている。



箱ひげ図



最大値
 第三四分位（75パーセントイル）
 中央値（50パーセントイル）
 第一四分位（25パーセントイル）
 最小値

パーセントイル

計測値の統計的分布の上で、小さい方から数えて何%目の値は、どれくらいかという見方をする統計的表示法

IRT とは

国際的な学力調査（PISA、TIMSS など）や英語資格・検定資格（TOEIC・TOEFL など）で採用されているテスト理論。児童生徒の正答・誤答が、問題の特性によるのか、児童生徒の学力によるのかを区別して分析し、児童生徒の学力スコアを推定する統計理論。異なる問題から構成される試験・調査の結果を、同じものさし（尺度）で比較できる。

IRT スコアとは

IRT に基づいて各設問の正誤パターンから学力を推定し、500 を基準にした得点で表すもの。CBT・IRT を導入する年の全国平均 500 点が基準値となる。

全ての教科において、本県の平均正答率（平均 IRT スコア）は全国の平均正答率（平均 IRT スコア）と概ね同等である。

令和7年度 本県の調査結果（公立）

	小学校調査			中学校調査		
	国語	算数	理科	国語	数学	理科
平均正答数・平均 IRT スコア（本県）	9.3/14	8.9/16	9.7/17	7.5/14	6.8/15	503
平均正答数・平均 IRT スコア（全国）	9.4/14	9.3/16	9.7/17	7.6/14	7.2/15	503
平均正答率（本県）	66	56	57	53	45	
平均正答率（全国）	66.8	58.0	57.1	54.3	48.3	

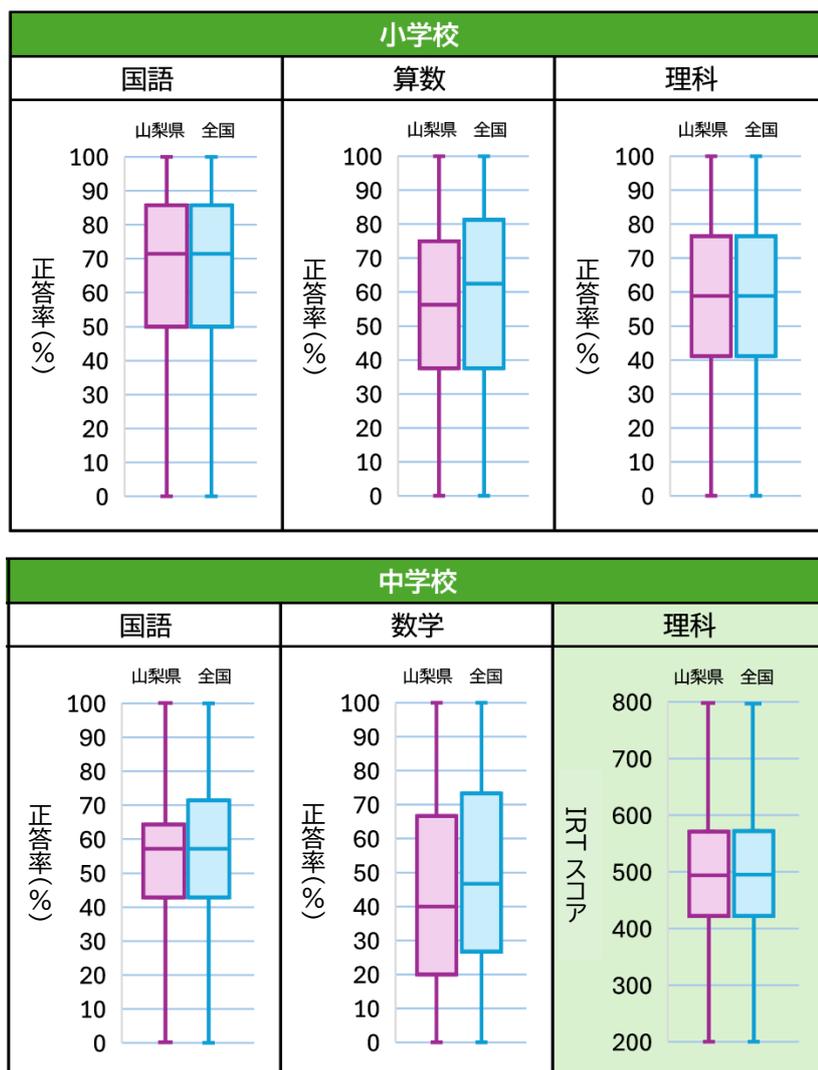
中学校理科の調査結果は、500 を基準とする IRT スコアで表示

※各年度の問題の難易度を厳密に調整する設計とはなっていないことと、年度によって出題内容も異なることから、過年度の結果との比較は行わない。

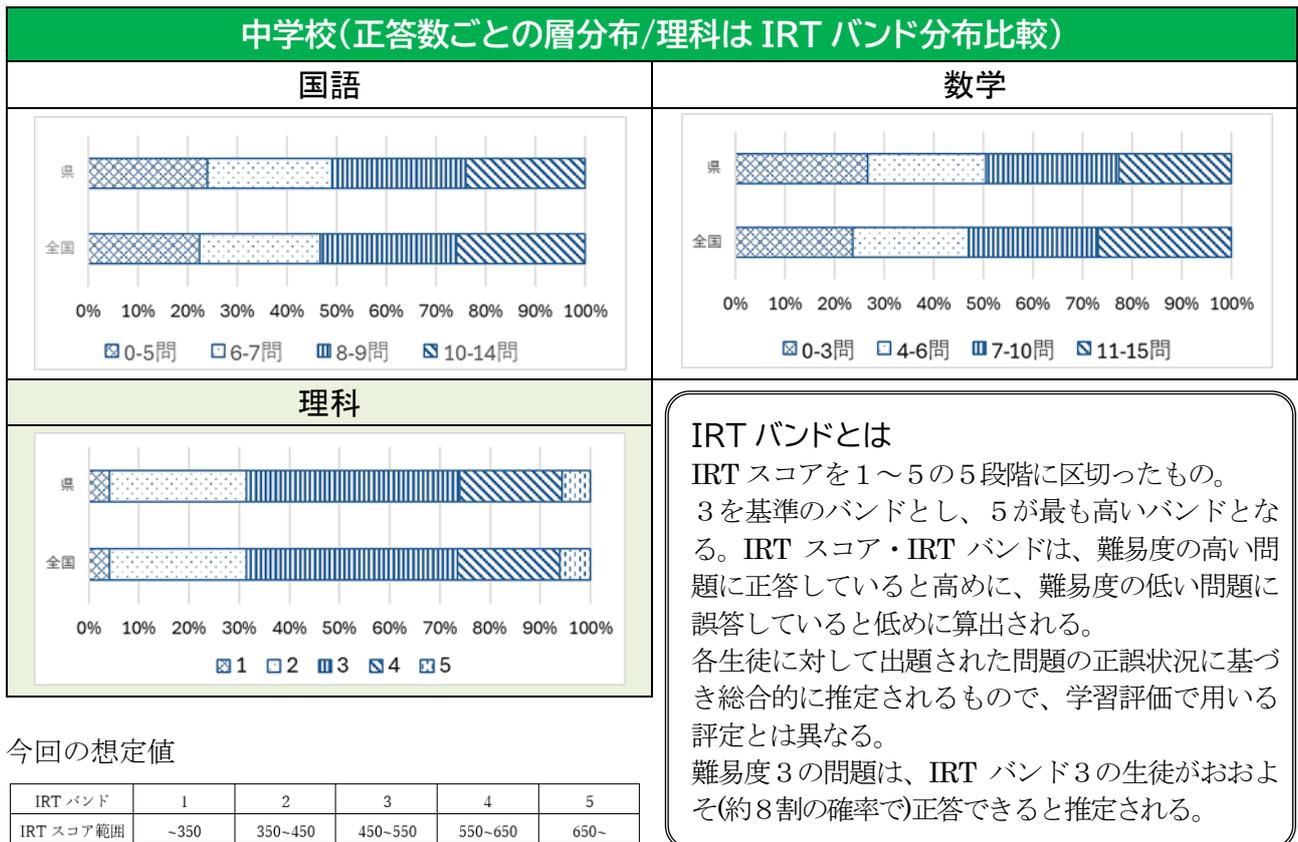
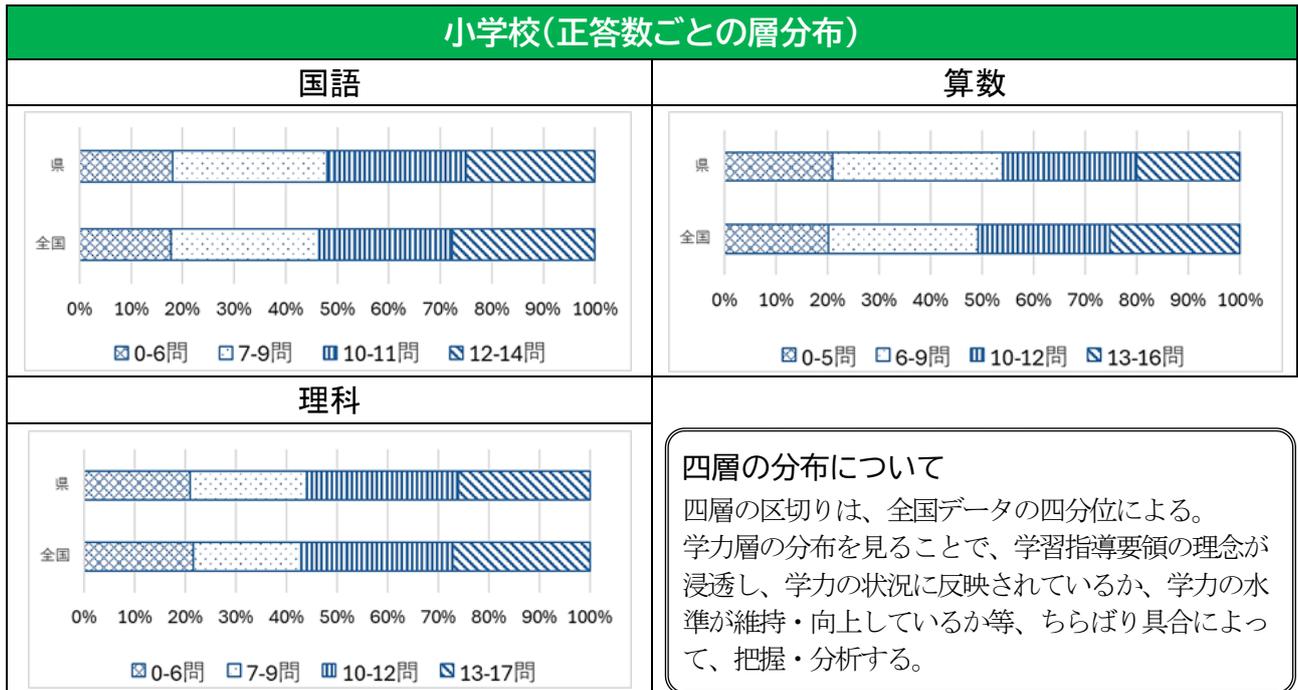
※都道府県の平均正答率については、文部科学省が平成29年度から整数値で公表している。

※後日実施した学校のデータは、全体の集計からは除外されている。（全国共通）

○全国及び本県（公立）の正答率・IRT スコアの分布

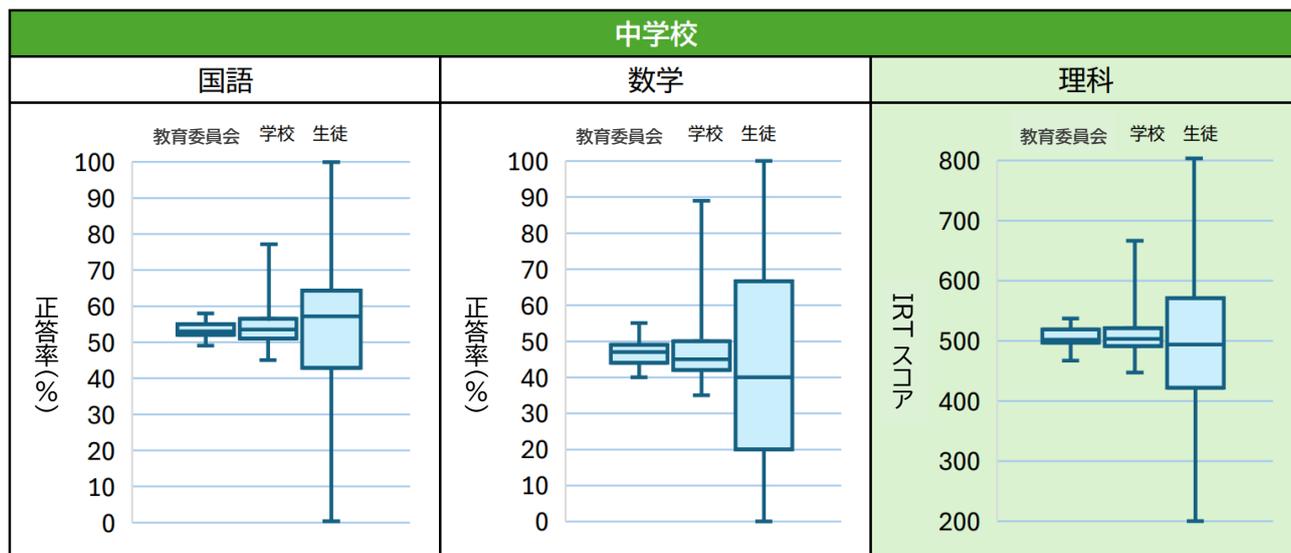
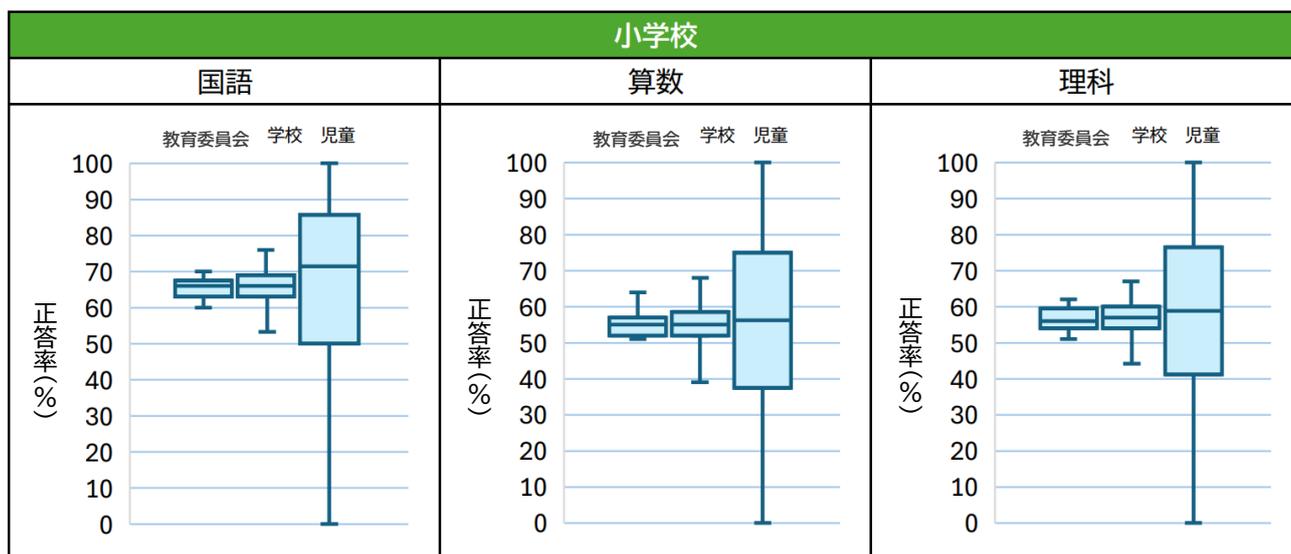


○全国及び本県（公立）の正答数・IRT バンドごとの層分布



○様々な集計単位で見る正答数・IRTスコアのばらつき

- ・各集計単位の平均正答率・スコアのばらつきに大きな変化は見られない。
- ・特に、県内教育委員会別の平均正答率・スコアについては、ばらつきの状況は狭い範囲に収まっている。



(2) 質問調査

①児童生徒質問調査

全国平均と比べて引き続き高い傾向にある項目

○児童生徒共通して、「朝食を毎日食べていますか」「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」等の生活習慣に関する項目で、全国平均を上回っている。

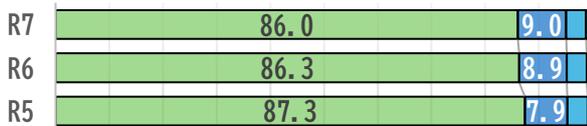
小 91.6%[+2.8] <R6 : 92.2%[+2.8]>

中 89.2%[+0.9] <R6 : 89.4%[+1.3]>

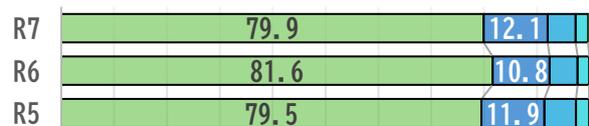
※[]内は全国平均との差（ポイント）を表す。以下、同様。

「朝食を毎日食べていますか」

【小学校】



【中学校】



0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90%100%

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90%100%

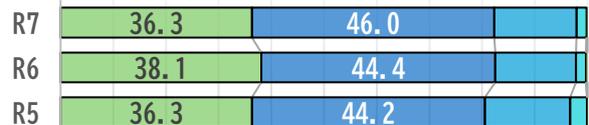
■ 1.している ■ 2.どちらかといえば、している ■ 3.あまりしていない ■ 4.全くしていない ■ その他 ■ 無回答

「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」

【小学校】



【中学校】



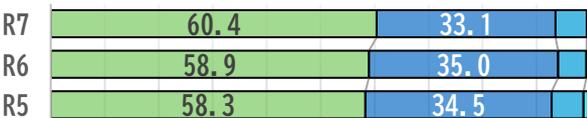
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90%100%

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90%100%

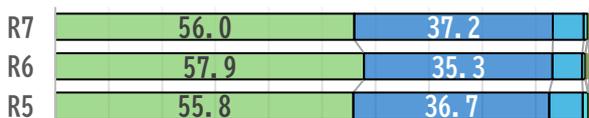
■ 1.している ■ 2.どちらかといえば、している ■ 3.あまりしていない ■ 4.全くしていない ■ その他 ■ 無回答

「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」

【小学校】



【中学校】



0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90%100%

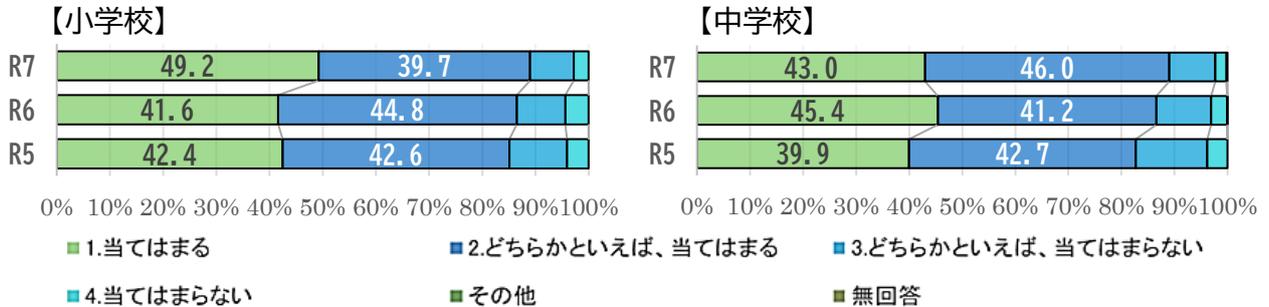
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90%100%

■ 1.している ■ 2.どちらかといえば、している ■ 3.あまりしていない ■ 4.全くしていない ■ その他 ■ 無回答

○児童生徒共通して、「自分には、よいところがあると思いますか」「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」等の自己有用感に関する項目で、全国平均を上回っている。

小 89.0%[+2.2]
中 88.4%[+1.6]

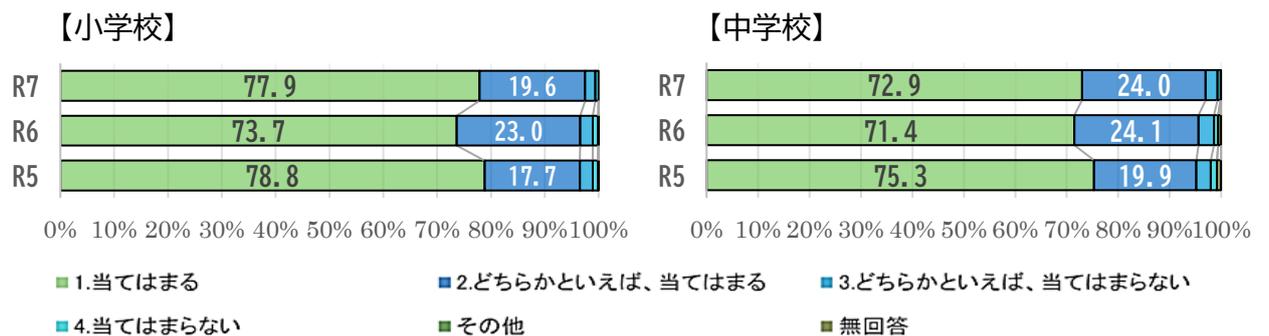
「自分には、よいところがあると思いますか」



○児童生徒共通して、「人が困っているときは、進んで助けていますか」「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」等の向社会性に関する項目で、全国平均を上回っている。

小 94.1%[+2.0]
中 91.1%[+1.4]

「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」



○児童生徒共通して、「5年生まで（1、2年生のとき）に受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか【週3回以上】」「あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器で文章を作成する（文字、コメントを書くなど）ことができると思いますか」等のICTを活用した学習状況に関する項目で、全国平均を上回っている。

小 82.2%[+4.3]
中 80.3%[+2.0]

○児童生徒共通して、「5年生まで（1、2年生のとき）に受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか」「5年生まで（1、2年のとき）に受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか」等の主体的・対話的で深い学びに関する項目で、全国平均を上回っている。

小 85.3%[+3.9]
中 80.4%[+3.0]

特徴的な傾向が見られる項目

○児童生徒共通して、「国語の勉強は得意ですか」「国語の勉強は好きですか」等の国語に関する意識に関する項目で、全国平均を上回っている。

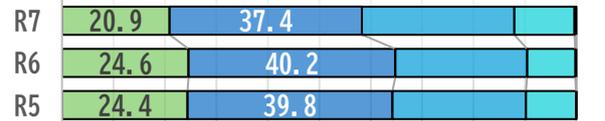
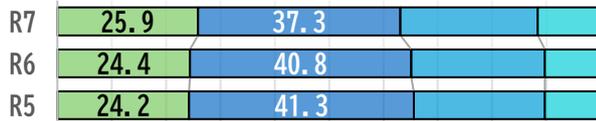
小 73.6%[+3.5]

中 67.1%[+1.2]

「国語の勉強は好きですか」

【小学校】

【中学校】



0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

■ 1.当てはまる ■ 2.どちらかといえば、当てはまる ■ 3.どちらかといえば、当てはまらない
■ 4.当てはまらない ■ その他 ■ 無回答

○「算数（数学）の勉強は得意ですか」「算数（数学）の勉強は好きですか」等の算数（数学）に関する意識に関する項目で、小学校は全国平均を上回っているが、中学校は下回っている。

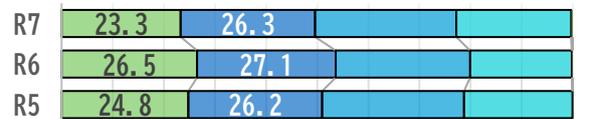
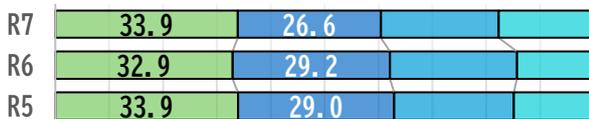
小 75.4%[+2.2]

中 55.6%[-2.7]

「算数（数学）の勉強は好きですか」

【小学校】

【中学校】



0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

■ 1.当てはまる ■ 2.どちらかといえば、当てはまる ■ 3.どちらかといえば、当てはまらない
■ 4.当てはまらない ■ その他 ■ 無回答

○児童生徒共通して、「理科の勉強は得意ですか」「理科の勉強は好きですか」等の理科に関する意識に関する項目で、全国平均を上回っている。

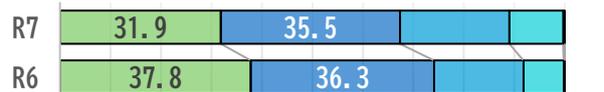
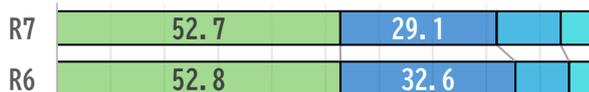
小 70.0%[+3.7]

中 54.1%[+3.2]

「理科の勉強は好きですか」

【小学校】

【中学校】



0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

■ 1.当てはまる ■ 2.どちらかといえば、当てはまる ■ 3.どちらかといえば、当てはまらない
■ 4.当てはまらない ■ その他 ■ 無回答

○児童生徒共通して、「国語の授業の内容はよく分かりますか」等の国語の学習活動に関する項目で、全国平均を上回っている。

小 84.8%[+5.3]

中 75.9%[+2.4]

○児童生徒共通して、「算数（数学）の授業の内容はよく分かりますか」等の算数（数学）の学習活動に関する項目で、全国平均と同等か、上回っている。

小 80.3%[+3.7]

中 68.0%[0.0]

○児童生徒共通して、「理科の授業の内容はよく分かりますか」等の理科の学習活動に関する項目で、全国平均を上回っている。

小 86.7%[+3.3]

中 74.6%[+4.2]

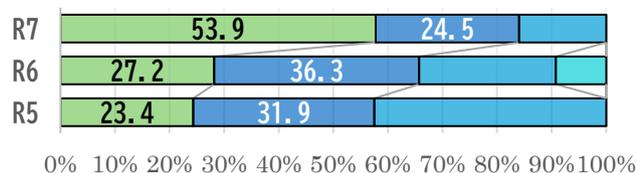
前年度よりも肯定的な回答の割合が高くなった主な項目

○児童生徒共通して、「5年生まで（1、2年生のとき）に受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか【週3回以上】」という調査項目で、割合が高くなった。

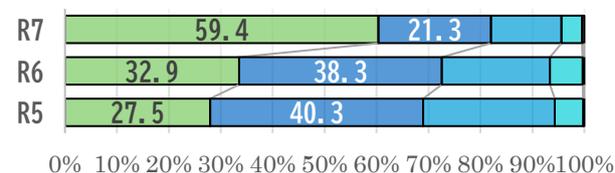
小 78.4%[+6.7] <R6：63.5%[+4.0]>

中 80.7%[+4.2] <R6：71.2%[+6.8]>

【小学校】



【中学校】



■ 1.ほぼ毎日 ■ 2.週3回以上 ■ 3.週1回以上 ■ 4.月1回以上 ■ 5.月1回未満 ■ その他 ■ 無回答

○児童生徒共通して、「自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか」という調査項目で、割合が高くなった。

小 82.7%[+4.6] <R6：78.5%[+2.7]>

中 80.0%[+0.8] <R6：78.0%[+1.8]>

肯定的な回答の割合が全国平均を下回った主な項目

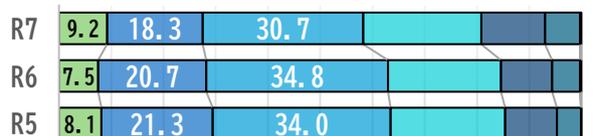
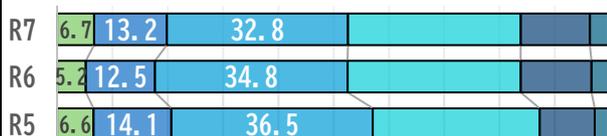
○学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）【1時間以上】

小 52.7%[-1.3] <R6 : 52.5%[-2.1]>

中 58.2%[-3.4] <R6 : 63.0%[-1.3]>

【小学校】

【中学校】



0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

■ 1.3時間以上 ■ 2.2時間以上、3時間より少ない ■ 3.1時間以上、2時間より少ない
 ■ 4.30分以上、1時間より少ない ■ 5.30分より少ない ■ 6.全くしない
 ■ その他 ■ 無回答

②学校質問調査

肯定的な回答の割合が全国平均を上回った主な項目

○小学校中学校共通して、総合的な学習の時間、学級活動、特別の教科 道徳の指導方法に関する項目で、全国平均を上回っている。

小 97.7%[+3.2] <R6 : 97.3%[+3.6]>

中 95.8%[+2.0] <R6 : 95.5%[+2.1]>

○小学校中学校共通して、学習評価に関する項目で、全国平均を上回っている。

小 94.4%[+4.9]

中 97.6%[+1.8]

○小学校中学校共通して、家庭学習に関する項目で、全国平均を上回っている。

小 93.8%[+1.3] <R6 : 93.8%[+2.6]>

中 91.5%[+4.0] <R6 : 90.7%[+4.5]>

肯定的な回答の割合が全国平均を下回った主な項目

○小学校中学校共通して、小学校教育と中学校教育の連携に関する項目で、全国平均を下回っている。近隣等の小学校中学校で、教育課程に関する共通した取組の充実を図る必要がある。

小 58.9%[-6.4] <R6 : 55.7%[-8.3]>

中 59.0%[-12.7] <R6 : 63.9%[-5.1]>

3 令和7年度の学力向上に向けた取組

《年間を通じた取組》

1 学力向上総合対策事業の推進

- 学力向上推進事業（学力向上フォーラム、学力向上アカデミー等）
- 山梨県学力把握調査事業
（中2国数英：1人1台端末等を用いたオンライン方式で実施）
- 学力向上支援スタッフ配置事業、スクール・サポート・スタッフ配置事業
- Yamanashi English Action
- 子供主体の授業実践推進事業
- やまなし教育創造推進事業
- 学校外でのICT活用
- 教頭マネジメント支援員配置事業
- 若手教員グローアップ事業

2 地域の実態に応じた取組の実施

- ・地域学力向上推進幹を中心とした、各地域の特色や課題に焦点を当てた学力向上対策の推進

3 指導主事による学校訪問

- ・市町村、学校毎の状況を把握し、指導改善の取組の周知・徹底
- ・「子供主体の授業への転換」に向けた取組の推進

4 学級経営の充実に向けた取組の推進

- ・児童生徒が所属感、自己有用感を持つことができるよう、集団としての意見をまとめたり、個人として問題解決に向けた目標や方法・内容等を決定したりする活動を引き続き県全体で推進

5 ICTを活用した指導の充実に向けた取組

- ・ICTを効果的に活用した授業づくりに関する研修会の開催
- ・教育課程研究会の実践事例の周知

《各種学力調査実施後の取組》

6 県教委による採点及び各種説明会を通じた早期の授業改善の推進

- ・自校採点の方法等についての資料を校務支援システムにて配付（各校の課題把握のための自校採点を促し、課題克服に向けた早期の授業改善につなぐ）
- ・総合教育センター指導主事（小・中・高）による全国学力・学習状況調査の早期採点及び山梨大学と連携した結果分析
- ・授業改善のための組織的な対応を促すため、全国学力・学習状況調査の早期採点の結果を踏まえた「授業の改善・充実に向けた説明会Ⅰ」をオンラインにて開催（小・中同日：6月9日）

7 「学力向上フォーラム2025」の開催（8月22日）

- ・全国学力・学習状況調査より明らかになった課題、学校での学習と学力向上対策等についての指導主事による説明
- ・大学の教授を講師に招聘して、「子供主体の授業」をテーマにした講演とワークショップの実施

8 各種学力調査の分析結果を反映させた説明会の実施

- ・本県児童生徒の学力調査における実態と課題を共有するため、各種学力調査（全国学力・学習状況調査、山梨県学力把握調査、山梨県公立小中学校教育課程実施状況調査）の結果を踏まえた「授業の改善・充実に向けた説明会Ⅱ」をオンデマンドで配信及びオンラインにて開催
（8月25日から全体概要及び質問調査の説明動画をオンデマンド配信。8月28日に各教科についてオンラインによる説明及びオンデマンド配信。）
- ・山梨大学と連携した結果分析を基に授業の改善・充実に向けた資料を作成
- ・各種研修会や学校要請訪問の中で、分析結果をもとにした授業改善の取組を説明

9 「ピックアップ問題」の作成・配信

- ・全国学力・学習状況調査の結果を受け、課題が見られた問題をピックアップ問題としてまとめ、校務支援システムのキャビネットからダウンロードできるようにし、各校での活用を推進
- ・1人1台端末等での活用を推進

1. 各教科の概要

以下の3つの視点から分析を行った。

- 正 正答率が高いまたは低い主な設問
- 差 全国の正答率と差が見られる主な設問
- 経 経年比較で成果や課題が見られる主な設問

小学校

教科	よくできている設問 (○)		正答率 (%)		調査結果のポイント
	課題がある設問 (△)		山梨県	全国	
国語	○ 正	山田さんが手ぬぐいの模様について言葉と図で説明した理由として適切なものを選択する。 [2]二]	82.4	81.8	図表などを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができている。
	△ 正 差 経	【話し合いの様子】の田中さんの発言の空欄Aに当てはまる内容として適切なものを選択する。 [3]三(1)]	36.7	40.8	目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けることに課題がある。
算数	○ 正	新品のハンドソープが空になるまでに何プッシュすることができるのかを調べるために、必要な事柄を選ぶ。 [4]1]	81.8	82.8	伴って変わる二つの数量の関係に着目し、必要な数量を見いだすことができている。
	△ 正 差	$\frac{3}{4} + \frac{2}{3}$ について、共通する単位分数と、 $\frac{3}{4}$ と $\frac{2}{3}$ が、共通する単位分数の幾つ分になるかを書く。 [3]2]	18.4	23.0	分数の加法について、共通する単位分数を見だし、加数と被加数が、共通する単位分数の幾つ分かを数や言葉を用いて記述することに課題がある。
理科	○ 正	赤玉土の粒の大きさによる水のしみ込む時間の違いを調べる実験の条件について、コップAの土の量と水の量から、コップBの条件を書く。 [1]1]	80.9	79.5	赤玉土の粒の大きさによる水のしみ込み方の違いについて、赤玉土の量と水の量を正しく設定した実験の方法を発想し、表現することができている。
	△ 正 経	アルミニウム・鉄・銅について、電気を通すか、磁石に引き付けられるか、それぞれの性質にあてはまるものを選ぶ。 [2]1]	9.2	10.6	身の回りの金属について、電気を通す物、磁石に引き付けられる物があることの知識の定着に課題がある。

中学校

教科	よくできている設問 (○) 課題がある設問 (△)		正答率 (%)		調査結果のポイント
			山梨県	全国	
国語	○ 正	ちらしに「会場図」を加えた目的を説明したものとして適切なものを選択する。〔1〕〔2〕	82.7	82.5	目的や意図に応じて、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることができている。
	△ 正 経	「一 榎木の実」に書かれている場面が、「二 釣の話」には書かれていないことによる効果について、自分の考えとそのように考えた理由を書く。〔3〕〔4〕	16.2	17.1	文学的な文章の構成や展開について、根拠を明確にして考えることに課題がある。
数学	○ 経	連続する二つの3の倍数の和が9の倍数になるとは限らないことの説明を完成するために、予想が成り立たない例をあげ、その和を求める。〔6〕〔1〕	62.7	62.8	事柄が常に成り立つとは限らないことを説明する場面において、反例をあげることができている。
	△ 正 差 経	果汁40%の飲み物 a mL に含まれる果汁の量を、 a を用いた式で表す。〔2〕	46.6	51.9	文字を用いて数量の関係や法則などを考察する場面において、数量を文字を用いて表すことに課題がある。
理科	○ 正	水道水と精製水に関する2人の発表を見て、探究の過程におけるあなたの振り返りを記述する。〔1〕〔6〕	80.1	79.4	科学的な探究を通してまとめたものを他者が発表する学習場面において、探究から生じた新たな疑問や身近な生活との関連などに着目した振り返りを表現できている。
	△ 差	「理科の実験では、なぜ水道水ではなく精製水を使うのかな？」という疑問を解決するための課題を記述する。〔1〕〔2〕	43.2	46.2	身の回りの事象から生じた疑問や見いだした問題を解決するための課題を設定することに課題がある。

2. 生活習慣や学習環境等に関する調査の本県の結果

【質問内容の番号は各質問調査の設問番号を表す】

(1) 児童生徒質問調査

○各領域に対応する質問項目

児童質問調査（小学校）

＜令和7年度教科を中心とした学力・学習状況の領域名と児童質問番号の対応一覧表＞

領域番号	領域名	児童質問 対応領域・質問番号
1	国語の学力	
2	算数の学力	
3	理科の学力	
4	主体的・対話的で深い学び	(31)～(35)(37)(39)
5	ICTを活用した学習状況	(28)(29)
6	国語に関する意識	(44)(45)(47)
7	国語の学習活動	(46)(48)～(51)
8	算数に関する意識	(52)(53)(55)(56)
9	算数の学習活動	(54)(57)～(59)
10	理科に関する意識	(60)(61)(63)～(65)
11	理科の学習活動	(62)(66)～(70)

※領域番号1～3については、各教科の全国平均正答率を基準として比較したものである。
 ※領域番号4～11については、「小学校児童質問対応領域・項目番号」に表示した質問における「選択肢別の得点換算」の全国平均値を基準として比較したものである。

＜令和7年度その他の学力・学習状況(学習習慣、自己有用感等)の領域名と児童質問番号の対応一覧表＞

領域番号	領域名	児童質問 対応領域・質問番号
12	総合・学級活動・道徳	(40)～(43)
13	生活習慣	(1)～(3)
14	学習習慣	(17)(19)
15	読書等	(21)～(24)
16	自己有用感等	(5)(6)(10)(12)(14)(15)
17	向社会的性	(8)(9)(11)(27)
18	主体的な学習の調整	(16)(36)

※領域番号12～18については、「小学校児童質問対応領域・項目番号」に表示した質問における「選択肢別の得点換算」の全国平均値を基準として比較したものである。

生徒質問調査（中学校）

＜令和7年度教科を中心とした学力・学習状況の領域名と生徒質問番号の対応一覧表＞

領域番号	領域名	生徒質問 対応領域・質問番号
1	国語の学力	
2	数学の学力	
3	理科の学力	
4	主体的・対話的で深い学び	(31)～(35)(37)(39)
5	ICTを活用した学習状況	(28)(29)
6	国語に関する意識	(44)(45)(47)
7	国語の学習活動	(46)(48)～(51)
8	数学に関する意識	(52)(53)(55)(56)
9	数学の学習活動	(54)(57)～(59)
10	理科に関する意識	(60)(61)(63)～(66)
11	理科の学習活動	(62)(67)～(70)

※領域番号1～2については、各教科の全国平均正答率を、領域番号3については全国平均IRTスコアを基準として比較したものである。
 ※領域番号4～11については、「中学校生徒質問対応領域・項目番号」に表示した質問における「選択肢別の得点換算」の全国平均値を基準として比較したものである。

＜令和7年度その他の学力・学習状況(学習習慣、自己有用感等)の領域名と生徒質問番号の対応一覧表＞

領域番号	領域名	生徒質問 対応領域・質問番号
12	総合・学級活動・道徳	(40)～(43)
13	生活習慣	(1)～(3)
14	学習習慣	(17)(19)
15	読書等	(21)～(24)
16	自己有用感等	(5)(6)(10)(12)(14)(15)
17	向社会的性	(8)(9)(11)(27)
18	主体的な学習の調整	(16)(36)

※領域番号12～18については、「中学校生徒質問対応領域・項目番号」に表示した質問における「選択肢別の得点換算」の全国平均値を基準として比較したものである。

※肯定的な回答の割合が比較的高い主な項目

<上段：本県回答率 下段：全国平均との差>

<数値は肯定的な回答をした児童生徒の割合を表す>

質問項目		小学校	中学校
①生活習慣：3項目の平均		91.6%	89.2%
		2.8	0.9
(1)	朝食を毎日食べていますか	95.0%	92.0%
		1.3	0.8
(2)	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	86.4%	82.3%
		4.5	1.3
(3)	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	93.5%	93.2%
		2.5	0.6
②自己有用感：6項目の平均		89.0%	88.4%
		2.2	1.6
(5)	自分には、よいところがあると思いますか	88.9%	89.0%
		2.0	2.8
(6)	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか	95.6%	94.7%
		3.4	2.5
(10)	困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか	74.8%	75.4%
		4.2	2.2
(12)	学校に行くのは楽しいと思いますか	88.0%	86.9%
		1.5	0.8
(14)	友達関係に満足していますか	92.2%	91.9%
		0.5	0.5
(15)	普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか	94.5%	92.2%
		1.5	0.6
③向社会性：4項目の平均		94.1%	91.1%
		2.0	1.4
(8)	人が困っているときは、進んで助けていますか	96.1%	93.0%
		2.4	2.1
(9)	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	98.0%	96.7%
		0.8	0.8
(11)	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	97.5%	96.9%
		1.1	0.3
(27)	地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか	84.9%	77.6%
		3.6	2.3

④ICTを活用した学習状況：5項目の平均		82.2%	80.3%
		4.3	2.0
(28)	5年生まで（1、2年生のとき）に受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか【週3回以上】	78.4%	80.7%
		6.7	4.2
(29-1)	あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器で文章を作成する（文字、コメントを書くなど）ことができますか	85.0%	85.4%
		3.2	1.8
(29-2)	あなたは自分がインターネットを使って情報を収集する（検索する、調べるなど）ことができますか	92.2%	93.1%
		2.4	1.6
(29-3)	あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器を使って情報を整理する（図、表、グラフ、思考ツールなどを使ってまとめる）ことができますか	73.1%	64.1%
		3.8	0.8
(29-4)	あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器を使って学校のプレゼンテーション（発表のスライド）を作成することができますか	82.2%	78.1%
		5.5	1.5
⑤主体的・対話的で深い学び：7項目の平均		85.3%	80.4%
		3.9	3.0
(31)	5年生まで（1、2年生のとき）に受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか	74.7%	69.2%
		6.1	6.2
(32)	5年生まで（1、2年のとき）に受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか	83.3%	79.7%
		3.0	2.0
(33)	5年生まで（1、2年のとき）に受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか	81.7%	72.5%
		3.9	1.9
(34)	5年生まで（1、2年のとき）に受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか	87.7%	82.4%
		4.3	3.1
(35)	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができますか	88.3%	87.1%
		3.4	2.4
(37)	授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができますか	86.5%	78.7%
		4.0	3.9
(39)	授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか	94.6%	93.4%
		2.7	1.5

※特徴的な傾向が見られる項目

質問項目		小学校	中学校
①国語に関する意識：3項目の平均		73.6%	67.1%
		3.5	1.2
(44)	国語の勉強は得意ですか	64.9%	53.5%
		3.5	2.1
(45)	国語の勉強は好きですか	63.2%	58.3%
		4.9	0.4
(47)	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	92.6%	89.4%
		2.2	1.1

②算数（数学）に関する意識：4項目の平均		75.4%	55.6%
		2.2	-2.7
(52)	算数（数学）の勉強は得意ですか	63.1%	40.1%
		2.8	-5.9
(53)	算数（数学）の勉強は好きですか	60.5%	49.6%
		2.6	-4.2
(55)	算数（数学）の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	92.2%	73.6%
		0.6	-1.6
(56)	算数（数学）の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できていますか	85.9%	59.0%
		2.6	1.1
③理科に関する意識：小学校5項目、中学校6項目の平均		70.0%	54.1%
		3.7	3.2
(60)	理科の勉強は得意ですか	82.3%	54.7%
		3.9	4.0
(61)	理科の勉強は好きですか	81.8%	67.4%
		1.7	3.6
(63)	理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	85.0%	67.3%
		5.1	3.9
(64)	将来、理科や科学技術に関する職業に就きたいと思いますか	31.0%	20.3%
		1.0	-1.4
(65)	理科の授業で学習したこと（学習した知識）を普段の生活の中で活用できていますか	69.9%	59.2%
		6.7	4.5
(66)	（中）理科の授業で学習した考え方を普段の生活の中で活用できていますか		55.4%
			4.7
④国語の学習活動：5項目の平均		84.8%	75.9%
		5.3	2.4
(46)	国語の授業の内容はよくわかりますか	86.6%	78.3%
		3.8	1.3
(48)	国語の授業で、先生は、あなたの良いところや、前よりもできるようになったところはどこかを伝えてくれますか	84.4%	76.8%
		6.2	3.9
(49)	国語の授業で、先生は、あなたの学習のうまくできていないところはどこかを伝え、どうしたらうまくできるようになるかを教えてくれますか	82.4%	73.4%
		6.9	3.2
(50)	【小】国語の授業で、目的に応じて、簡単に書いたりくわしく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫して文章を書いていますか 【中】国語の授業で、文章を読み、その文章の構成や展開に、どのような効果があるのかについて、根拠を明確にして考えていますか	86.0%	75.3%
		4.2	1.3
(51)	【小】国語の授業で、目的に応じて説明的な文章を読み、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けていますか 【中】国語の授業で、文章を書いた後に、読み手の立場に立って読み直し、語句の選び方や使い方、文や段落の長さ、語順などが適切かどうかを確かめて文章を整えていますか	84.4%	75.8%
		5.3	2.2

⑤算数（数学）の学習活動：4項目の平均		80.3%	68.0%
		3.7	0.0
(54)	算数（数学）の授業の内容はよく分かりますか	81.3%	67.5%
		3.0	-2.8
(57)	算数（数学）の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか	85.9%	75.9%
		3.6	-0.3
(58)	算数（数学）の授業で、どのように考えたのかについて説明する活動をよく行っていますか	70.8%	62.2%
		5.3	3.6
(59)	【小】小数や分数の計算をするとき、工夫して計算しようとしていますか 【中】文字式を用いた説明や図形の証明を読んで、かかかれていることを理解することができますか	83.3%	66.5%
		2.7	-0.6
⑥理科の学習活動：小学校6項目、中学校5項目の平均		86.7%	74.6%
		3.3	4.2
(62)	理科の授業の内容はよく分かりますか	91.5%	74.3%
		2.6	2.9
小 (66)	自然の中や日常生活、理科の授業において、理科に関する疑問を持ったり問題を見いだしたりしていますか	73.9%	59.6%
中 (67)		5.0	3.4
小 (67)	理科の授業では、観察や実験をよく行っていますか	94.2%	89.6%
中 (68)		1.8	3.8
小 (68)	理科の授業では、問題に対して答えがどのようになるのか、自分で予想（仮説）を考えていますか	88.0%	75.9%
中 (69)		2.3	5.7
小 (69)	理科の授業で、観察や実験の結果から、どのようなことが分かったのか考えていますか	91.3%	/
		2.9	
(70)	【小】理科の授業で、観察や実験の進め方や考え方が間違っていないかを振り返って考えていますか 【中】理科の授業で、課題について観察や実験をして調べていく中で、自分や友達の学びが深まったか、あるいは、新たに調べたいことが見つかったか、振り返っていますか	81.3%	73.7%
		5.3	5.3

※前年度よりも肯定的な回答の割合が高くなった主な項目

質問項目		小学校	中学校
(13)	自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか	82.7%	80.0%
		4.6	0.8
(28)	5年生まで（1、2年生のとき）に受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか【週3回以上】	78.4%	80.7%
		6.7	4.2

※肯定的な回答の割合が全国平均を下回った主な項目

質問項目		小学校	中学校
学習習慣：2項目の平均		35.5%	44.0%
		-2.3	-3.1
(17)	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）【1時間以上】	52.7%	58.2%
		-1.3	-3.4
(19)	土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）【2時間以上】	18.3%	29.7%
		-3.2	-2.8

(2) 学校質問調査

※肯定的な回答の割合が比較的高い主な項目

質問項目		小学校	中学校
①学校運営/教職員の資質向上：14項目の平均		94.0%	92.8%
		-0.1	2.2
(11)	前年度に、教員が授業で問題を抱えている場合、率先してそのことについて話し合うことを行いましたか【月数回程度 以上】	68.7%	66.2%
		-10.4	1.3
(12)	前年度に、教員が学級の問題を抱えている場合、ともに問題解決に当たることを行いましたか【月数回程度 以上】	84.7%	81.9%
		-3.8	3.9
(13)	ICTを活用した校務の効率化（事務の軽減）の優良事例を十分に取り入れていますか	99.4%	97.6%
		0.4	-0.7
(14)	教育課程表（全体計画や年間指導計画等）について、各教科等の教育目標や内容の相互関連が分かるように作成していますか	97.6%	96.4%
		1.0	2.0
(15)	児童（生徒）の姿や地域の現状等に関する調査や各種データなどに基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立していますか	97.6%	96.4%
		0.5	0.4
(16)	指導計画の作成に当たっては、教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせていますか	98.8%	97.6%
		1.3	5.5
(17)	言語活動について、国語科を要としつつ、各教科等の特質に応じて、学校全体として取り組んでいますか	97.6%	96.4%
		1.3	1.7
(18)	授業研究や事例研究等、実践的な研修を行っていますか	99.4%	97.6%
		0.8	2.3
(19)	個々の教員が自らの専門性を高めるため、校外の各教科等の教育に関する研究会等に定期的・継続的に参加していますか（オンラインでの参加を含む）	93.2%	92.8%
		3.6	5.3
(20)	校内研修の計画立案、その他の研修に関する業務を行う校務分掌を、誰が担っていますか（管理職を除く）【校内研修に関する業務を行う校務分掌を設けている】	88.9%	91.5%
		-2.6	3.7
(21)	学校運営上の課題への対応に当たっては、各教職員（支援スタッフを含む）の専門性を活かせるよう適切な役割分担や連携協働をしていますか	100.0%	100.0%
		0.4	0.8
(22)	今までの取組をそのまま踏襲するのではなく、新しい取組を導入したり、提案をしたりしてくる教職員が多いと思いますか	93.9%	91.5%
		2.9	1.8
(23)	教職員が困っているとき、管理職と教職員との間で随時相談できるなど組織的に対応する体制を構築していると思いますか	99.4%	100.0%
		0.1	0.9
(24)	ストレスチェックの結果の活用や研修など、教職員自身の心身の健康状態につき振り返り対処する機会が提供されていると思いますか	96.4%	92.8%
		3.7	1.9

②総合的な学習の時間、学級活動、特別の教科、道徳の指導方法：4項目の平均		97.7%	95.8%
		3.2	2.0
(36)	調査対象学年の児童（生徒）に対して、総合的な学習の時間において、課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導をしていますか	96.9%	95.2%
		4.2	3.7
(37)	調査対象学年の児童（生徒）に対して、学級生活をよりよくするために、学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法等を合意形成できるような指導を行っていますか	98.1%	96.4%
		3.2	2.2
(38)	調査対象学年の児童（生徒）に対して、学級活動の授業を通して、今、努力すべきことを学級での話し合いを生かして、一人一人の児童（生徒）が意思決定できるような指導を行っていますか	97.5%	96.4%
		3.7	3.8
(39)	調査対象学年の児童（生徒）に対して、特別の教科 道徳において、取り上げる題材を児童（生徒）自らが自分自身の問題として捉え、考え、話し合うような指導の工夫をしていますか	98.2%	95.2%
		1.6	-1.9
③学習評価：1項目		94.4%	97.6%
		4.9	1.8
(40)	調査対象学年の児童（生徒）に対する指導に関して、前年度までに、学習評価の方針を児童（生徒）に示した上で、児童（生徒）の学習評価の結果を、その後の教員の指導改善や児童（生徒）の学習改善に生かすことを心がけましたか	94.4%	97.6%
		4.9	1.8
④家庭学習：3項目の平均		93.8%	91.5%
		1.3	4.0
(80)	調査対象学年の児童（生徒）に対して、前年度までに、家庭学習の取組として、学校では、児童（生徒）に家庭での学習方法を具体例を挙げながら教えましたか	97.5%	97.6%
		0.9	4.8
(81)	調査対象学年の児童（生徒）に対して、前年度までに、家庭学習について、児童（生徒）が自分で学ぶ内容や学び方を決めるなど、工夫して取り組めるような活動を行いましたか	92.6%	89.1%
		2.0	3.2
(82)	調査対象学年の児童（生徒）に対して、前年度までに、学校では、児童（生徒）が行った家庭学習の課題について、その後の教員の指導改善や児童（生徒）の学習改善に生かしましたか	91.4%	87.9%
		1.0	3.9

※肯定的な回答の割合が全国平均を下回った主な項目

質問項目		小学校	中学校
①小学校教育と中学校教育の連携：1項目		58.9%	59.0%
		-6.4	-12.7
(72)	前年度までに、近隣等の中学校（小学校）と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定等、教育課程に関する共通の取組をどの程度行いましたか	58.9%	59.0%
		-6.4	-12.7
②家庭や地域との連携等：7項目の平均		79.2%	65.2%
		-0.5	-8.3
(73)	【小】職場見学を行っていますか 【中】調査対象学年の生徒に対して、前年度に、職場体験活動を何日程度行いましたか【3日以上】	51.5%	14.5%
		6.4	-23.5
(74)	教育課程の趣旨について、家庭や地域との共有を図る取組を行っていますか	90.8%	85.5%
		1.5	-2.3
(75)	コミュニティ・スクール等の仕組みを活用して、保護者や地域住民の意見を学校運営に反映していますか	81.6%	77.2%
		-4.8	-6.2
(76)	地域学校協働活動の仕組みを生かして、保護者や地域住民との協働による活動を行いましたか	85.3%	65.0%
		-3.9	-14.5
(77)	コミュニティ・スクールや地域学校協働活動等の取組によって、学校と地域や保護者の相互理解が深まりましたか	94.4%	84.3%
		1.1	-4.7
(78)	コミュニティ・スクールや地域学校協働活動等の取組は、「社会に開かれた教育課程」の実現に効果がありましたか	92.6%	80.7%
		0	-6.3
(79)	コミュニティ・スクールや地域学校協働活動等の取組は、教員の業務負担軽減に効果がありましたか	58.3%	49.4%
		-3.6	-0.4

※前年度よりも肯定的な回答の割合が高くなった主な項目

質問項目		小学校	中学校
(29)	調査対象学年の児童（生徒）は、授業では、自分で学ぶ内容を決め、計画を立てて学ぶ活動を行っていると思いますか	65.7%	56.6%
		1.6	0.0
(33)	調査対象学年の児童（生徒）に対して、前年度までに、習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしましたか	90.8%	85.6%
		2.2	-1.2
(57)	コンピュータなどのICT機器の活用に関して、学校内外において十分に必要なサポートが受けられていますか	93.2%	92.8%
		3.5	7.4
(59)	調査対象学年の児童（生徒）が自分で調べる場面（ウェブブラウザによるインターネット検索等）では、児童（生徒）一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか【週3回以上】	74.9%	73.5%
		2.0	2.3
(65)	教職員と家庭との間で連絡を取り合う場面で、コンピュータなどのICT機器をどの程度活用していますか【「どちらかといえば、活用している」以上】	77.4%	78.3%
		-0.6	0.0
(77)	コミュニティ・スクールや地域学校協働活動等の取組によって、学校と地域や保護者の相互理解が深まりましたか	94.4%	84.3%
		1.1	-4.7